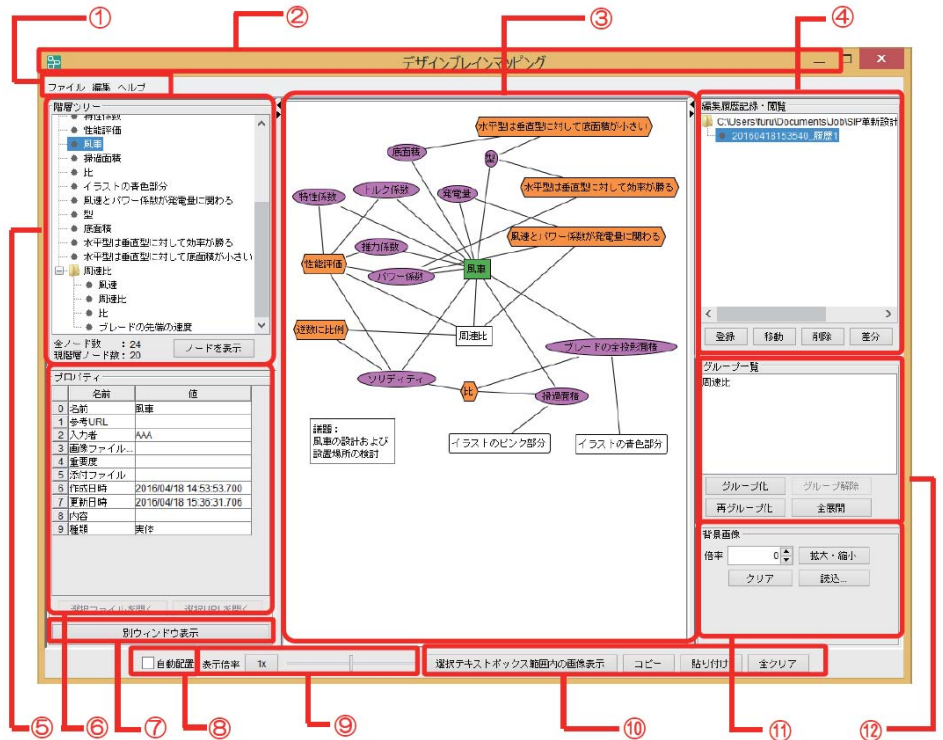


1. ウィンドウ各部位の名称

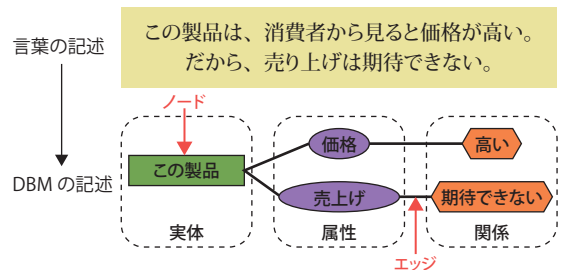
- ① メニューバー
- ② タイトルバー
- ③ グラフ表示エリア (領域)
- ④ 編集履歴一覧表示エリア
- ⑤ 階層ツリー表示エリア
- ⑥ プロパティ表示エリア
- ⑦ プロパティ表示の別ウィンドウ表示ボタン
- ⑧ 自動配置ボタン
- ⑨ 表示倍率調整
 - ・初期値戻すボタン
 - ・倍率調整スライダー
- ⑩ コマンドボタン
 - ・テキストボックス内の画像表示
 - ・コピー
 - ・貼り付け
 - ・全クリア
- ⑪ 背景画像設定欄
- ⑫ グループ一覧表示エリア



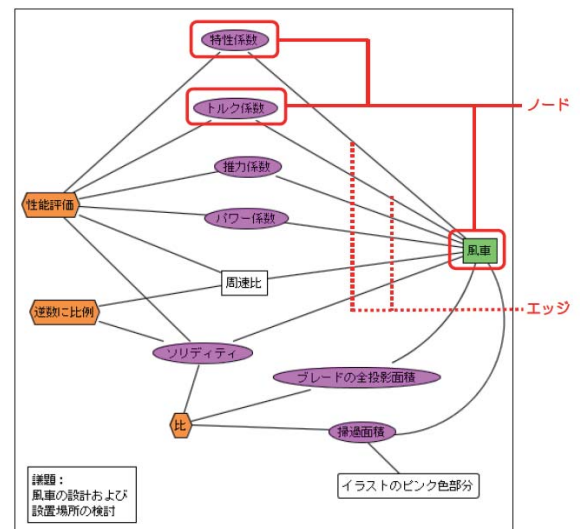
2. ファイルメニュー項目

項目	説明	
ファイル	新規作成	ファイルを新規に作成します。編集中の情報はクリアされます。
	検索	「ノード」「エッジ」を検索します。 詳細について P.67「11.グラフ要素を検索する」
	開く...	ファイルを開きます。編集中の情報はクリアされます。
	上書き保存	編集中の内容を上書き保存します。
	名前を付けて保存	編集中の内容を名前を付けて保存します。保存形式は、次の4つがあります。 XML (履歴情報を含む) ... 履歴情報を含んで保存します。 XML (履歴情報を含まない) ... 履歴情報は削除して保存します。 XML (伏字出力) ... 各因子を伏字で保存します。 CSV ... テキストデータで保存します。
	印刷	帳票プレビュー画面が表示され、編集中のデザインブレインマップを印刷します。
	全展開して印刷	帳票プレビュー画面が表示され、編集中のデザインブレインマップのグループ化を全展開して印刷します。
	プロパティ設定読み込み...	プロパティ設定 INI ファイルを読み込みます。
	終了	デザインブレインマッピングを終了します。
	編集	コピー
貼り付け		クリップボードの内容を貼り付けます。
作成・更新日時再設定...		プロパティ欄でこの項目が空欄のすべてのノードとエッジの、作成日時および更新日時を設定し直します。
ヘルプ	16進 RGB コード参照...	16進 RGB コード表が参照できます。
	操作説明書...	デザインブレインマッピングの操作説明書を表示します。操作方法等を確認することができます。
	自習書...	デザインブレインマッピングの自習書を表示します。簡単な例を元に考え方を学ぶことができます。
	バージョン情報	バージョンを表示します。

3. 関係性の記述と構造の例



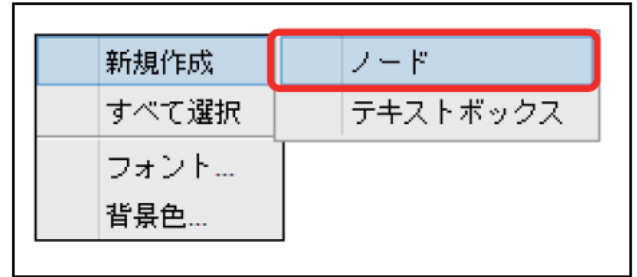
4. グラフの見方



5. 基本操作

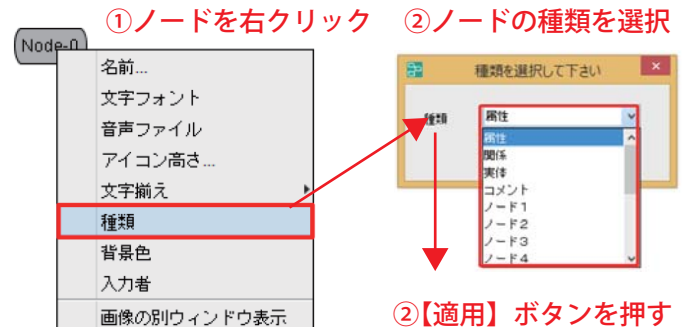
5-1. ノードの新規作成

グラフ表示エリア内で右クリックして、表示されたメニューから [新規作成] → [ノード] を選択すると、ノードが作成されます。ノードを追加したい場所で左ダブルクリックでもノード作成出来ます。ノード名の入力は、ノード上で左ダブルクリックし表示されるノード名入力画面から可能です。



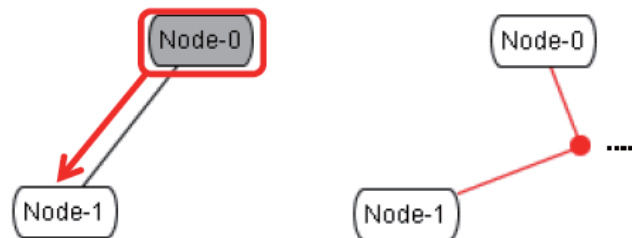
5-2. ノード・プロパティの変更

ノードを選択して右クリックで表示されたメニューからノード・プロパティの変更ができます。(例) [種類] → [属性])



5-3. エッジで繋ぐ、エッジ形状を変更する

ノードからマウス右ボタンを押したまま別のノードまでドラッグするとエッジが引かれます。デフォルトでは直線が引かれます。エッジを選択しエッジ上でクリックすると、「エッジ経由点」ができます。経由点をドラッグして線を自由に変形させることができます。



6. ツールをより便利に使う

項目	説明
グラフ要素のプロパティの追加・編集	<p>グラフ要素が増えた場合、デフォルト以外のプロパティを設定することで、グラフをより解りやすくすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ プロパティの追加について P.49「プロパティの拡張」 ☞ プロパティの編集について P.52「7.グラフ要素のプロパティを編集する」
グラフ要素のグループ化	<p>グラフ要素が増えた場合、グループ化することで、グラフをより解りやすくすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ P.60「8.グラフ要素をグループ化する」
グラフ要素の検索	<p>グラフ要素が増え、グラフが複雑になった場合、検索機能で要素を簡単に判別することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ P.67「11.グラフ要素を検索する」
グラフの編集履歴	<p>グラフ要素が多く、グラフが複雑になることが予想される場合、途中段階で編集履歴を残すことで、その時点のグラフに簡単に戻れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ P.71「12.グラフの編集履歴を残す」
グラフを画像にする	<p>グラフを他のデータに利用したい場合など、グラフを画像として保存することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ P.63「9.グラフを画像表示する」

※便利な使い方の補足

- ・ノードを複数選択する場合は、選択するノードの周囲をドラッグで囲むか、選択するノードを Shift キーを押しながら順にクリックします。
- ・テキストの途中で改行を行う場合は、改行する位置に " \n " を入力します。(DBM では現在のところ undo、redo の機能はございません。)

7. テキストボックス



グラフ表示領域内で右クリックし、表示されたメニューから [新規作成] → [テキストボックス] をクリックするとテキストボックスができます。

8. 画像の取込み

ノード・プロパティで [画像ファイルへのパス] の [名前] または [値] をクリックするとダイアログボックスが表示されます。画像ファイルを選択して [開く] ボタンをクリックすると画像が表示されます。



JPEG 画像ファイルなどは、直接「グラフ表示エリア」に「ドラッグ&ドロップ」でも取込みできます。